



四国八十八箇所靈場“第46番札所” 医王山養珠院淨瑠璃寺様

お客様訪問

No.37

愛媛県松山市にある淨瑠璃寺様は、弘法大師空海ゆかりの八十八ヶ所の札所寺院のひとつで、松山市内で最初の札所です。境内には、樹齢1,000年以上と言われる“イブキビャクシン”があり、緑が豊かな寺院です。今回は、ご住職の奥様の岡田峯子様にお話を伺いました。

■淨瑠璃寺様の特徴を教えて下さい。

淨瑠璃寺は、四国八十八ヶ所の四十六番札所です。

八十八ヶ所の半分を過ぎて、松山市内八ヶ寺の打ち始めの靈場になります。四十四、四十五番札所の険しい山々の札所を巡り、松山に下りて淨瑠璃寺を訪れる、緑の豊かさと静けさに、心が“ホッ”とするお寺です。

■利用者に対して、どんな点に気を配っていらっしゃいますか？



▲ご住職の奥様 岡田峯子様

「伊」には気をつけてきました。他にも、花を飾ったり、毎日タオルを取り替えて、お遍路さんに心地良く使っていただける様、心掛けています。

■アメニティを導入した理由と、導入して良かった点を教えてください。

業務多忙で、十分なトイレ掃除が出来なくなりました。また、トイレのニオイが気になってきた為、アメニティのリピートメンテナンスの導入を決めました。お蔭様で掃除が苦にならず、助かっています。

■最後に担当（ショップ）へ一言お願いします
これも何かのご縁ですので、今後とも宜しくお願いします。



☆ 私が担当しています！ ☆

SHOP
キホクアメニティ 愛媛県松山市
岡田健(おかだけん)さん
トイレ診断士 ID: 11-0113-0336
淨瑠璃寺様にリピートメンテナンスに行く度、その風景や、静けさなどに心が洗われます。少しでも、お遍路さんに気持ちよくトイレを使っていただける様、努力をしています。

Toilet Topics

面白くて使えるトイレ関連のスマホアプリ

トイレをもっと便利に面白くしてくれるスマートフォンのアプリ

スマホがトイレのリモコンに

My SATIS

アプリとシャワートイレを運動させ、水を流す機能はもちろん、シャワートイレの水勢や温度、位置などを自分の好みに設定することができます。スマホに保存されている音楽を使い本体のスピーカーから流す機能も。また、毎日の排便状況をかわいいイラストで記録できる「トイレ日記」もあり健康管理にも役立ちそうです。

▲My SATIS 設定画面

全国5万件の多機能トイレ情報を検索

Check a toilet

高齢者や障害者、子育て中のパパママが安心して外出できるよう、NPO法人Checkが運営する多機能トイレ検索アプリ。利用者が多機能トイレ情報を登録できるのも良いところ。是非一度お近くの多機能トイレを検索してみてください。ご存知の多機能トイレを登録することで、社会貢献にもなりますね。

▲Check a toilet 画面

これが本当の「雪隠詰め」？
トイレ脱出ゲーム

100toilets

あなたはトイレから脱出することができるのか？！画面をタッチしながらトイレに隠されたさまざまな謎を解いて脱出するゲーム。狭いトイレの中と侮ることなかれ。100のステージにそれぞれ異なる仕掛けがあるので頭の体操にもなり、意外とはまってしまいます。すべてクリアできたら「100toilets 2」にも挑戦！

▲100toilets 画面

編集後記

今回トイレの臭いについて特集しましたが、一方、良い香りについては環境省が選定した「かおり風景100選」というものがあります。北海道・富良野のラベンダー、や、箱根大涌谷の硫黄のかおりなどが挙げられており、そのかおりと風景が一体となって人々の記憶に残るようなものだと思います。トイレも臭いの記憶ではなく、良い香りの記憶として印象に残るようにならいいですね。(セルベッチャ中嶋)

Information!

動画共有サイトYouTubeに、株式会社アメニティの公式チャンネルを開設いたしましたICMや関連動画などをアップしていますので、ぜひご覧ください！

※YouTubeで「株式会社アメニティ公式」と検索してください。



あなたの町のアメニティネットワーク

コンタ イイ トイレ

0120-57-1110

トイレを楽しむ新聞
かわや版
KAWAYABAN

Amenity Network
http://www.amenity-network.net/
[発行所] 株式会社アメニティ
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7717
Copyright ©2015 AMENITY INC. All rights reserved

2015 初夏号 Vol.55

特集

臭いが気になる夏！ その前にトイレの臭いの元をチェック！

じめじめと暑い時期になると、いつも掃除しているのに気になってくるトイレの悪臭。それには原因がありました。臭いが気になりだす前に、臭いの元となっている箇所を点検してみましょう。

温度や湿度が高くなるとなぜ臭いを感じやすくなるの？



理由その1

空気中に浮遊するニオイ分子が多くなる

そもそも人間はどうしてにおいを感じることができるのでしょうか？実はにおいの元となるのは空気中を浮遊しているニオイ分子。ニオイ分子の種類は40万個もあると言われています。このニオイ分子が人間の鼻の奥にある嗅細胞（嗅覚受容体）に付着し、その信号が脳に伝わることによって、においを感じるのであります。

これを前提に、温湿度が高くなるとなぜ臭いを感じやすくなるのか考えてみましょう。

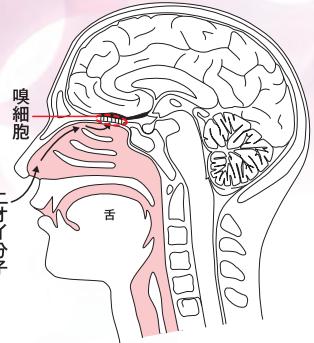


理由その2

気温や湿度が嗅覚におよぼす影響

人間の嗅覚の特性として、気温が18℃から25℃くらいのときが一番においに敏感になると言われています。また、多くのニオイ分子は湿度が上昇するにつれ、より強くにおいを感じるようになります。これは嗅覚受容体の粘膜に適度な湿り気が必要なためと考えられています。

れを受け取る「人間の感覚」が相まって、結果的に温湿度が上昇する梅雨時や夏に臭いをより感じやすくなるのです。



* * *

こういった「環境の侧面」と、そ

普段の清掃で見落としがちな悪臭の元をシャットアウト！

このように、温湿度が高くなると冬場は気にならなかった臭いが表面化してきます。しかし「臭いがする」ということは、「臭いの元（=汚れ）がある」ということを忘れてはいけません。一番の対策は「元から絶つ！」ということですので、見落としがちな箇所をチェックしてみましょう。



温水洗浄便座と便器の隙間

温水洗浄便座と便器の隙間は尿の汚れが溜まりやすく、なかなか掃除しにくいところ。夏の間はさらにカビが発生したりと悪臭の原因になります。温水洗浄便座によっては、本体側面のボタンを押しながら前方にスライドすれば、外れる仕組みになっていますので、一度外して清掃してみましょう。その時には便座の裏側部分もお忘れなく。



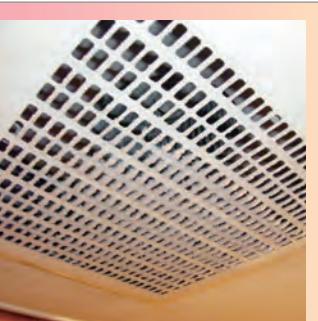
便器の周りの床や壁

小便器の周囲には、小便の飛沫が120cmも飛んでいると言われています。また、洋式大便器で「立ちション」をした場合にも、床や壁などに思いのほか遠くまで飛沫が飛んでいるのです。男女共用の大便器は特に注意が必要ですね。



床排水口

通常の排水口は、排水管内の悪臭や害虫が室内に入り込まないように水の層でふたをする「トラップ」という仕組みになっています。このトラップにほこりや髪の毛がたまると、トラップ内の水が抜けてしまったり、乾きやすくなり、排水管内の臭いが室内に流入します。梅雨時のじめじめした時期に、いわゆる下水の臭いがするという時はこれが原因かもしれません。ほこりなどを取り除き、水を入れておきましょう。



換気扇のほこり

トイレ使用中の臭気などに関する話題では、換気扇を抜きには語ることができないほど重要な設備。衣服の脱ぎ着で換気扇にも埃が溜まりがちですが、埃をそのままにしておくと、換気能力を低下させるばかりではなく、カビや微生物の温床にもなります。埃は掃除機などで吸い取っておきましょう。

文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介致します。

第15回 絵解き世界の面白トイレ事情

プロlogue

さあ、あなたは、何処の国のどんなトイレに遭遇するのでしょうか。

近年、日本の考古学の発掘成果には、目を見張るものが多い。

筆者が館長を勤めている大田区立郷土博物館でも、2回にわたり、トイレ考古学の特別展を開催した。その中で青丹よし奈良の都に咲く花の、匂うがごとき水洗トイレがあった事実を紹介した。つまり、日本には下記のとおり西暦815年の太政官符さえ残っているのだ。

流水を家内に引くを責めず
ただ汚穢を牆外に露わすを禁ず
よってすべからく穴毎に樋を置き
水を通すべし

太政官符弘仁六年

アメリカ合衆国は、日本の歴史から見れば関ヶ原の合戦後にできた真新しい国であることは確かである。

だからといってアメリカを軽視してはいけない。過去日本はアメリカと戦い、負けてしまったが、それには色々の理由が挙げられるが、本書ではトイレに関する話題を三例ほど述べておく。即ち、「戦争とトイレ」。

[1] ガダルカナル島

日本軍がガダルカナルに上陸した時、米軍側は飛行機を飛ばして日本軍の情勢を偵察したが、ジャング

量から過大評価して米軍に報告した。米軍は絶対負けられないと、その報告人数の倍の兵士を送り込んだ。つまり、日本軍は味方の四倍近くの敵を迎えて、大敗を喫した次第である。

[2] 海軍の軍艦内トイレの日米比較

日本大学の講師三野正洋氏の研究によると、日本海軍の長門級と米海軍のサウス・ダコタ級の戦艦のトイレを比べてみると、乗組員一人当たりのトイレ数が、日本は一便器当たり61名、アメリカは36名になっている。現実には、日本海軍の場合、将校用のトイレは下士官や兵士はまず使用できなかったので、もっと大変だったことと推察される。国防という重要な問題を取り上げても、トイレの研究や認識は決してクサイモノにはフタとか、笑い話では済まされないのである。



▲リンドバーグが乗ったスピリット オブ セントルイス号の実物大模型と筆者



▲大西洋単独無着陸飛行に初めて成功したチャールズ・リンドバーグ

[3] 航空機内のトイレ

私は、戦争中には陸軍航空隊に属し九七式重爆撃機に乗ることが多かった。仏印のサイゴン(今のホーチミン市)の飛行場を飛び立って、シンガポールの英海軍セレーターの基地を爆撃するのに、片道4時間、往復で8時間。ほとんどシャム湾の上空を飛んでいた。こうした長距離爆撃の時などには、和紙に墨を塗った油紙の袋を支給された機もあったというが、その程度で機内にはトイレの設備など全くない。したがって乗組員は普通8名ほど、搭乗直前にトイレを済ませて行くのだが、なかには途中で腹具合を悪くしてガマンできなくなる場合もある。現在のようにビニール袋があるという時代ではなく、止むを得ず後方銃座を脱して、そこの狭い穴に下痢の汚物を放しようとしたが、強い逆風で思わず逆噴射。すごい洗礼を受けた、という悲惨な話もある。なんともヒドイ

時代であった。

また戦争ではないが、大西洋横断に成功した有名なリンドバーグも、パリに着陸した時は飛行服の中は大変なりさまだった、と聞いている。普通の人はそこまで気付かず、英雄行為に大騒ぎしたと思うが、リンドバーグは大変だったと思う。飛行機を設計した人達は、人間工学が分かっていないのではないかとさえ疑いたくなる時代であった。

いまの北海道の新千歳空港の待合室3階にリンドバーグ機の実物大模型が展示されている。ベニヤで造つ

たような機体はこれで飛べるのかと思うほどヤワで、やはり排泄用の設備なんかは何も見当らなかった。

これからは人工衛星や宇宙ステーションが増え脚光を浴びるであろうが、われわれ人間や生き物は、どうしても排泄という行為からはのがれられない。つまり、トイレの問題はこれからも後を絶たないであろう。

それだけに、本書では過去から現在にかけての地球上の人間や動物のトイレの現実はどうなっているのか、あまり肩を張らずに楽しく話を進めて見よう。



[出典] 絵解き世界のおもしろトイレ事情
(9頁～13頁)より転載
発行所：日地出版
著者：西岡秀雄
発行：平成10年10月